



ちばりは ニュース

2022年2月発行 第47号

千葉県千葉リハビリテーションセンターの理念と基本方針

理念

「誰もが街で暮らすために」

Everybody will be in own town

—私たちは障害児・者の自立と社会参加に向けて良質な医療と福祉を提供します—

基本方針

- 利用者の意思と個性を尊重し、専門職の協働による包括的リハビリテーションを実践します。
- 日々の研鑽により自らの人間性と専門性の向上を図り、安全で質の高いサービスを約束します。
- 地域の各機関との連携を図り支援し、また研究・開発や専門職育成に努めます。



〒266-0005

千葉市緑区誉田町 1-45-2

TEL 043-291-1831 FAX 043-291-1857

ホームページアドレス

<http://www.chiba-reha.jp/>



脊髄損傷者に特化した上肢機能評価 日本語版

Capabilities of the Upper Extremity Test (CUE-T) を作成！！

当センターでは、脊髄損傷者のリハビリテーションに関わる様々な評価法の臨床応用、研究を実施してきました。この度、当センターが中心となり、日本語版『Capabilities of the Upper Extremity Test (CUE-T)』（脊髄損傷四肢麻痺者に特化した上肢機能評価）を作成しましたので、ご報告させていただきます！



Alumni | Athletics | About | Global Jefferson | Apply | Visit | Give | Q

Jefferson Advantage | Academics | Admissions | Tuition & Financial Aid | Life at Jefferson | Research | Nexus

Departments, Divisions, & Programs - Center for Outcomes & Measurement - Measures & Assessments - Capabilities of the Upper Extremity Test (CUE-T)

Center for Outcomes & Measurement

- CUE-T Manual, Japanese Version
- CUE-T Kit Fabrication Instructions, Japanese Version
- CUE-T Dataform, Japanese Version

日本語版 CUE-T 作製にあたって

近年、様々な疫学調査において外傷性脊髄損傷の発生数は増加傾向であり、その内訳として四肢麻痺が大半を占める。脊髄損傷による四肢麻痺では上肢機能に障害を呈し、日常生活動作（ADL）に制限を受けることが多い。一方で、本邦における脊髄損傷四肢麻痺に特化した上肢機能評価法は乏しく、これに対する専門的な評価の必要性が高まっていた。

Capabilities Upper Extremity Test (CUE-T) は脊髄損傷四肢麻痺に特化した上肢機能評価法であり、Ralph J. Marino 医師らによって開発された。CUE-T は 2012 年頃から国際的に報告がなされてきており、臨床試験の効果判定にも使用されている。CUE-T の特徴は、特別な評価キットを購入せずに日用品を使用することで脊髄損傷四肢麻痺に特有の上肢を用いた『Functional Limitations（（活動面における）機能制限）』を数値化することができることである。CUE-T は各方向へのリーチ動作を含む片手動作やプッシュアップや重錘を



千葉県千葉リハビリテーションセンター
センター長 菊地 尚久

千葉県千葉リハビリテーションセンター
リハビリテーション治療部 成人療法室 第二作業療法科
茨城県立医療大学
大学院 保健医療科学研究科
作業療法士 神保 和正

CUE-T は 2018 年頃から国際的に普及し始め、国際脊髄学会の専門誌『Spinal Cord』において「臨床試験で使用するべき上肢機能評価」として推奨されています。日本語版 CUE-T は、世界的な脊髄損傷者の治療、研究機関である Thomas Jefferson 大学のホームページ上からダウンロード可能です。当センターのホームページ（脊損リハセンター内）でも紹介しておりますので、ぜひご活用ください。

＜当センターの紹介ページのご案内＞

千葉リハビリテーションセンター
ホームページ

千葉リハの取り組み

→脊損リハセンター

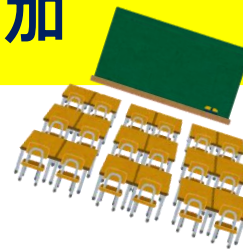
→国際的な評価法の紹介



日本語版 CUE-T は、患者様を含む多くの方々のご協力の下完成に至っています。心よりお礼申し上げます。今後は、日本語版 CUE-T を多くの方々に使用していただき、脊髄損傷者のより良い支援に繋げていければと考えています。



緑町中学校の職業学習に参加



昨年 12 月 7 日、千葉市立緑町中学校の職業学習の授業に当センターの職員 2 名（理学療法士、作業療法士）が講師として参加しました。

きっかけは、地域新聞社様が発行する中学 2 年生向けの教材「10 年先のジョブノート」にて当センターと職員が取り上げられたことで、授業でこの冊子を使用した緑町中学校からお招きを頂きました。



後半は、職員による車いす・義足の体験や自助具の実演を行いました。普段は見る機会の少ない義足や自助具の体験に生徒の皆さんは興味津々で、予定された時間を超えて体験していただきました。

当日は、講師 1 名に対して 6 名の生徒さんのグループに分かれ、ワークショップ形式で 2 時間の授業を行いました。授業の前半は、生徒さんが冊子を読んで考えたことを発表し、その発表に対して講師役の当センター職員から感想とコメントを言いました。その後は質疑応答となり、生徒さんから「患者さんに対して一番気を遣っていることは何ですか?」「国家資格を取るための学校ではどんなことを学びますか?」などの質問をいただきました。



センターで働く職員のお仕事に興味を持ってもらい、将来このような仕事をを目指す方が出てきてくれることを期待しています